

地域共生社会の実現に向けた福祉医療実践 ⑪

済生会東神奈川リハビリテーション病院の 地域共生社会の実現に向けた福祉医療実践

社会福祉法人 恩賜財団 済生会
済生会東神奈川リハビリテーション病院 医事課
課長 濱崎 啓師

1 病院の概要

所在地 神奈川県横浜市神奈川区西神奈川
1-13-10
設置主体 社会福祉法人恩賜財団済生会支部
神奈川県済生会
病床 106床
(2階:32床 3階:37床 4階:37床)
診療科目 リハビリテーション科
付帯施設 通所リハビリテーション、訪問リハ
ビリテーション

3. 患者さんの権利を尊重し、患者さんが参
加する医療を展開します
4. 未来のリハビリテーションに貢献できる
先進的なリハビリテーションに取り組み
ます
5. 急性期病院との医療連携、慢性期・生活
期の医療・介護施設、在宅スタッフとのス
ムーズな地域連携を構築し、地域から選ば
れる病院をめざします
6. 職員の働きがいのある病院をめざします
7. 病院として責任ある経営をめざします

2. 理念・基本方針

《理念》

リハビリテーション医療を通じて地域の皆様の
幸福に貢献します

《基本方針》

1. 質の高いリハビリテーション医療、安全
な医療を提供します
2. 患者さんにご家族に信頼される医療を提
供します

3. 当院の特徴

旧通信病院を済生会が事業継承し、近隣の同
一法人である済生会神奈川県の回復期機能を移
し、済生会東神奈川リハビリテーション病院と
して2018年2月に新規に開院した。

2018年2月の開院時は74床からスタートし、
同年7月99床、2021年9月106床と段階的に病
床数を増やし、現在は106床全病棟で回復期リ
ハビリテーション病棟入院料1の施設基準を

取得している。主な疾患は脳血管疾患等が約90%、脊髄損傷や四肢切断等で残り10%となっている。他の回復期リハビリテーション施設と比較すると、当院入院患者の平均年齢は若く、2023年度は平均65.5歳となっており、高齢者だけでなく、若年層の復職等を目的とした患者も多く受け入れている。また、2018年6月に通所リハビリテーション、2020年に訪問リハビリテーションの介護事業もスタートし、退院後の外来リハビリを含め、入院から在宅まで切れ目のないリハビリテーションを提供している。外来は退院後のリハビリに加え、痙縮外来（ボトックス注射等）、装具外来、摂食嚥下外来などの特色のある外来も実施している。リハビリテーション専門病院として、リハビリテーション科専門医を院長含め5名を配置し、リハビリ機器もVICON（モーションキャプチャーシステム）やKiNvis（自己運動錯覚誘導システム）、Tyromotion（手指・上下肢・体幹部・高次脳機能訓練が可能なトータルサポートシステム）等、最先端な機器も導入している。また大学・企業と協力して最先端リハビリテーションの研究と実践にも積極的に取り組んでいる。2023年には病院機能評価の高度専門（回復期）にも認定され、質の高いリハビリテーション医療を提供できるよう、日々努力を継続している。

4. 当院の相談体制

地域連携部門に4名のMSWが在籍する医療福祉相談室、2名の看護師が在籍する退院支援室があり、役割分担をしながら入院支援業務、

相談業務、連携業務、地域活動などを実施している。また、同じフロアに事務部門の医事課があり、無料低額診療事業や地域交流等で協働している。

5. 当院のソーシャルインクルージョン（生活困窮者事業含む）

(1) 障害者スポーツ支援

横浜マリノスが毎年開催する電動車椅子サッカー大会の各種ボランティアを多職種（医師・看護師・セラピスト・事務）で参加し、障害者スポーツの支援、啓発活動を実施している。



電動車椅子サッカー

(2) 買物支援

送迎車を活用し、地域ケアプラザ・民生委員連携のもと、坂が多い地域住民を月1回大型ショッピングセンターまで送迎し、普段行けない場所の買物を楽しんでいただけるよう、高齢者の社会参加促進も兼ね、買物の移動支援を実施している。

(3) 災害備蓄食料の寄贈

災害備蓄食料が更新する時期に合わせて、



買い物支援

2023年9月にフードバンクかながわ、2024年11月に神奈川区の社協や生活支援課含め生活支援を必要とする8施設に、災害備蓄食料を寄贈した。

(4) リハビリ専門職派遣

地域ケアプラザや地域の自治会・集会所へリハビリ専門職を派遣し、健康教室や介護予防教室を開催し、健康・フレイル予防に貢献している。

6. 今後の方向性

当院は2025年2月で開院から7年目を迎えます。病院機能評価の高度専門病院(回復期)に相応しい質の高いリハビリテーション医療を継続すると共に、地域の医療機関・介護事業所・行政・企業等とさらなる連携を図っていききたい。また、新しい取り組みや事業にも積極的にチャレンジし、地域包括ケアシステム・地域共生社会の実現に向け、リハビリテーションを通じて地域に貢献していききたい。



病院正面